

## 「市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定」締結について

令和2年1月27日、長野県佐久市と「市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定」を締結しました。

### 1 目的

両市が、相互に人的交流を行い、連携及び協力して、保健・医療・福祉の分野における先進的な事業や施策を現場で調査し、研修などを行うことにより、市民の健康づくり、疾病予防、医療提供及び地域包括支援体制の構築などの効果的かつ効果的な推進と人材の育成を図り、市民の健康増進と健康長寿の実現に資すること。

### 2 協定の名称

市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定

### 3 協定締結先

長野県佐久市

### 4 主な連携協力事項

- (1) 健康づくり、地域包括ケアに係る高齢者施策等に関する保健医療福祉分野の事業や施策に関すること
- (2) 災害対応における保健医療福祉分野の対策に関すること
- (3) 健康増進や健康長寿に係わる専門職等関係職員の人材育成に関すること
- (4) 健康福祉のまちづくりに資する事業や施策に関すること

【協定締結式】



### 5 長野県佐久市の概要と本市の比較

佐久市は早くから予防医療に全市的に取り組み、生まれる前から高齢になるまで生涯を通じた切れ目のない保健・医療・福祉サービスの提供を行うなど健康長寿のまちとして高く評価されています。

	佐久市		いわき市	
人口	98,957人 (令和元年10月1日現在)		340,205人 (令和元年10月1日現在)	
面積	423.51 km <sup>2</sup>		1,232.02 km <sup>2</sup>	
高齢化率	30.10% (平成31年4月1日現在)		30.17% (平成31年4月1日現在)	
平均寿命	男性	女性	男性	女性
	81.7歳	88.4歳	80.1歳	86.8歳

(平成27年市区町村別生命表)

# 「健康」で都市連携協定

## いわき市 × 長野県佐久市

### 視察など検討

健康づくりに生かそうと、いわき市は十七日、健康長寿の先進的な取り組みを展開している長野県佐久市と都市連携協力協定を締結した。いわき市によると、健康に絞った自治体間の連携協定は珍しいという。

佐久市では医師が昭和三十年代から訪問診療を積極的に行い、住民の健康意識を高めるのに貢献。住民主体による健康増進につながる、全国有数の健康長寿都市に発展した。がん、心疾患の死亡率を示す数値が県内で

高い割合を示している。いわき市は、佐久市の事例を参考に市民の意識改革を促す。一に提供する予定だ。

佐久市では医師が昭和三十年代から訪問診療を積極的に行い、住民の健康意識を高めるのに貢献。住民主体による健康増進につながる、全国有数の健康長寿都市に発展した。がん、心疾患の死亡率を示す数値が県内で

高い割合を示している。いわき市は、佐久市の事例を参考に市民の意識改革を促す。一に提供する予定だ。

# いわきと佐久 長寿協力締結

いわき市は27日、健康長寿のまちとして知られる長野県佐久市と、市民の健康長寿の実現に向けた都市連携協力協定を結んだ。互いの健康や福祉に関する取り組みを共有し、実践を目指すほか、大規模災害発生時に活用する保健福祉、医療分野のマニユアル策定などで協力する。

相互の人的交流を通して保健、医療、福祉の分野で先進的な事業や施策を調査し市民の健康づくりや疾病予防などを図ることが目的。専門職員の人材育成や健康

福祉のまちづくり施策なども協力事項に盛り込んだ。災害発生時については、いわき市は現在、県が策定したマニユアルを採用しているが、今後佐久市と協働

し、独自の職員向けマニユアルを策定する方針。佐久市は人口約9万9千人。女性の平均寿命は88・4歳で、全国1718市町村中11位（2015年時点）と上位となっている。いわき市の女性の平均寿命は86・8歳。佐久市では、市民主体の健康づくりに向けた取り組みが盛んといいいわき市は佐久市を参考にした施策の展開を検討する。

締結式は27日、いわき市で行われ、清水敏男市長と佐久市の柳田清一市長が協定書を交わした。

# 福島県いわき市と 佐久市が連携協定

## 健康長寿実現へ学び合い

佐久市は27日、福島県いわき市と「市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定」を締結した。市民の健康づくりや病気の予防などに関する互いの取り組みを、研修や視察を通じて学び合う計画。いわき市は東日本大震災や台風19号で被災した経験があり、佐久市側はいわき市の災害対応を学びたいと期待している。

佐久市の柳田清一市長がいわき市に清水敏男市長を訪ねた。両市長は共に国会議員秘書を経験。秘書時代から交流があり、今回はいわき市側から連携の打診があったという。

佐久市側はポールウォーキングを活用した健康づくりを含め、予防医療の取り組みなどを紹介する計画。柳田市長は「いわき市の災害対応について学ぶところは多くあると思う」と話し、災害時の市民の健康保持に関する取り組みなどについて学びたいとした。



協定を交わした清水市長と柳田市長



# 長野・佐久の先進事例に学ぶ

## いわき市と健康長寿の協定 指標ワーストの返上を目指す

いわき市は27日、市民福祉の向上を目指すため、先進事例を持つ長野県佐久市と「市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定」を締結した。佐久市は戦中での死亡率など健康指標が悪かった過去があるが、昭和30年代から農村地域での訪問医療に力を入れ、住民の健康意識を高めてきた歴史を有し、平成27年には女性の平均寿命（88.4歳）が、長野県1位、全国1718町村の中でも11位を記録した。

締結式が同日夕方、い  
わき市役所第3会議室で  
開かれ、清水市長、佐久  
市の柳田清二市長が協定  
書を交わした。  
いわき市の健康指標  
は、県内の中であまり良  
くない結果が出ている。  
市によると、県内13市で  
比較した場合、心疾患に  
よる死亡は男女ともワ  
ースト2位、脳血管疾患に  
よる死亡は男性が同2  
位、女性が同1位だ。  
65歳時の平均余命も全  
国の男性19・55歳、女性  
24・39歳に対し、いわき  
市は男性18・02歳、女性  
22・88歳にとどまる。  
こうした実態を改善さ  
せるため、市は昨年をい  
わき市健康元年」と位置  
づけ、協定に至った。協定を通  
じ、佐久市が持つ訪問医療  
の歴史（健康長寿都  
市「佐久市」より）  
を学ぶ。また、職員の交流を促し、  
10月には佐久市が毎年  
開催している「健康づく  
り佐久市民のつどい」に、  
いわき市職員を招待する  
計画も立っている。  
また昨年10月の台風19  
号の被害を踏まえ、福祉  
の面から、災害対応マ  
ニュアルの整備も検討し  
ていく。佐久市は台風19  
号で千曲川の支流が氾濫  
し、2人が死亡したほか、  
4000棟を超える住宅  
に被害が出た。  
協定に当たって、清水  
市長は「いわき市の健康  
指標をV次回復させた  
い」と強調。柳田市長  
も「いわき市との連携に  
よって、自分たちも学び  
直しをしたい」と語った。

さらに取り組みを深化  
させるため、佐久市との  
協定に至った。協定を通  
じ、佐久市が持つ訪問医療  
の歴史（健康長寿都  
市「佐久市」より）  
を学ぶ。また、職員の交流を促し、  
10月には佐久市が毎年  
開催している「健康づく  
り佐久市民のつどい」に、  
いわき市職員を招待する  
計画も立っている。  
また昨年10月の台風19  
号の被害を踏まえ、福祉  
の面から、災害対応マ  
ニュアルの整備も検討し  
ていく。佐久市は台風19  
号で千曲川の支流が氾濫  
し、2人が死亡したほか、  
4000棟を超える住宅  
に被害が出た。  
協定に当たって、清水  
市長は「いわき市の健康  
指標をV次回復させた  
い」と強調。柳田市長  
も「いわき市との連携に  
よって、自分たちも学び  
直しをしたい」と語った。

また昨年10月の台風19  
号の被害を踏まえ、福祉  
の面から、災害対応マ  
ニュアルの整備も検討し  
ていく。佐久市は台風19  
号で千曲川の支流が氾濫  
し、2人が死亡したほか、  
4000棟を超える住宅  
に被害が出た。  
協定に当たって、清水  
市長は「いわき市の健康  
指標をV次回復させた  
い」と強調。柳田市長  
も「いわき市との連携に  
よって、自分たちも学び  
直しをしたい」と語った。

また昨年10月の台風19  
号の被害を踏まえ、福祉  
の面から、災害対応マ  
ニュアルの整備も検討し  
ていく。佐久市は台風19  
号で千曲川の支流が氾濫  
し、2人が死亡したほか、  
4000棟を超える住宅  
に被害が出た。  
協定に当たって、清水  
市長は「いわき市の健康  
指標をV次回復させた  
い」と強調。柳田市長  
も「いわき市との連携に  
よって、自分たちも学び  
直しをしたい」と語った。